

介護技術発表募集要綱

大会概要

■開催日時

令和5年7月5日(水)

9:30~17:00

■発表会場

パシフィコ横浜 会議センター

みなとみらい線

「みなとみらい駅」より徒歩3分

JR線・市営地下鉄

「桜木町駅」より徒歩12分

■大会ホームページ

かながわ高齢大会 で検索



<https://www.kanagawafukushitaikai.jp/>

4年ぶりにパシフィコ横浜で開催！

今年で12回目を迎える実技型のプログラムで、日ごろから実践している介護技術や工夫を発表し共有する機会となっています。



本大会は、お互いの技術や工夫を発表することで、技術の向上や業務の改善のヒントとすることを目的としています。日頃、介護技術を披露する機会や、他施設の介護技術を知ることの少ない介護に携わる職員が介護の素晴らしさをアピールする場となります。

募集概要

募集題数

20題（4部門 各5組）

募集期間

令和5年1月17日（火）午前9時～2月14日（火）※早期終了あり

※先着順で募集し、募集定数を超えた場合には早期終了します。

（神奈川県社協会員法人・施設が優先となります。）

応募資格

社会福祉法人が運営する神奈川県内の高齢者福祉施設・介護保険事業所の従業者

◆年齢、経験、役職等は問いません。ベテランの方も奮ってご参加ください。

応募方法

◆下記よりご応募ください。

【応募フォーム（Googleフォーム）】

<https://forms.gle/p34S4suCHScavWdh8>

※大会ホームページにも掲載



◆同一施設から複数の発表申込を行う場合は、それぞれ応募が必要です。

◆応募件数により早期終了または、参加者調整をさせていただく場合がございます。

参加費

大会参加費のみご負担ください。
(参加費1名：会員施設6,000円、非会員施設8,000円)

発表時間

発表時間15分、移動時間等5分。【予定】

発表内容

日ごろから実践している介護技術や工夫を会場で発表します。

①下記4部門よりテーマを選択ください。

※応募時には第二希望までお選びいただけます。

1. レクリエーションの実践
2. 移動介護（トランスファー）
3. 認知症ケア
4. 個別ケア

◆発表者が場面・モデル等を設定する自由発表です。

②説明者・実技者・モデル役を決めてください。

◆発表は、説明者・実技者・モデル役に分かれて行っていただきます。
※モデル役は説明者との兼任も可、2人以上の複数人でも可。

③発表のポイントを踏まえて発表の流れを考えてください。

◆事前説明会にて当日のスケジュールや発表のポイントをお伝えします。

④大会当日、参加者の前で発表を行います。

講評

発表ごとに学識経験者による講評を行います。

各部門で「発表のポイント」を示しますが、全部門に共通する考え方として

- 「1 基本の介護技術に則っているか」
- 「2 利用者の目線に立った介護が行われているか」

を重視し講評を行います。

その他

◆施設・事業所のユニフォームなど、動きやすい服装でご参加ください。

◆ベッドや車椅子等の機材は大会実行委員会にて手配します。
技術発表の際に必要なもの（持ち運びできる程度の福祉用具・自助具等）は、原則として施設で使い慣れているものを各自お持ち込みいただきます。

◆そのほか、詳細は事前説明会にてご説明します。

発表決定から当日までの流れ



発表者の声

介護技術発表に参加された、実技者ならびに説明者の皆さんからの感想の一部をご紹介します。発表をご検討される方は、ぜひ参考にしてください。

- ◆自施設で試行錯誤しながら日頃の業務の振り返りを行うことが出来ました。
- ◆発表施設の取り組みの目的や利用者との関わり方を学ぶ事が出来ました。
- ◆実践の成果を発表できたと共に達成感を感じました。

また、介護福祉士養成校の学生からも

「介護技術発表が実践的ですぐに参考にできそうだと思います。」

「今後の実習や就職してからの業務に活かすことができ、非常に参考になりました。」

などの感想もあがっております。

部門	過去大会で扱われた題材や場面等
レクリエーションの実践	<p>ロコモ体操・椅子ヨガ・タオル体操</p> <p>ゲーム的要素を取り入れたリハビリ</p> <p>利用者の学習意欲を引き出す授業レク</p> <p>身体を動かしながら脳を動かすデュアルタスクのレク</p>
移動介護（トランスファー）	<p>キネステティクスの概念に基づく、利用者の潜在能力を引き出す支援</p> <p>「円背」がある利用者に合わせて移動介護</p> <p>進行性四肢筋萎縮症の利用者がトイレでの排泄を行う場面</p> <p>座位は保てるけれど起立・立位が難しい利用者の移動介護</p> <p>和床を希望する利用者への移動介護</p> <p>介護機器（ICT）の導入による介助</p> <p>福祉用具とユマニチュードの活用</p>
認知症ケア	<p>日中の徘徊、歩行不安定による転倒リスクを抱える方に対する多職種間連携によるアプローチ</p> <p>「家に帰りたい」という利用者の不安に寄り添う声かけ</p> <p>夜間、眠れない利用者に対してのアプローチ</p> <p>アルツハイマー型認知症の利用者でお部屋の間違いや、暴言、暴力等が見られる場合の支援</p> <p>「入浴をしたくない」という利用者へのアプローチ</p>
個別ケア	<p>テーマ「その人適した良い姿勢（褥瘡予防・拘縮予防）」</p> <p>テーマ「視覚障害高齢者の自立に向けての支援」</p> <p>テーマ「食べられる口を創る6つのケア手法」</p>

研究発表の応募方法やホームページの掲載内容に関する事など、お気軽にご連絡ください。

＜大会事務局＞

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部

〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター内

TEL 045-534-5662 Mail sisetu@knsyk.jp

大会の様子や参加者の声をまとめた記録映像をHPに掲載しています！

大会ホームページ かながわ高齢大会 で検索 **又は右記QRコードから**

